

令和6年第1回宝達志水町教育委員協議会議録要旨

開会日時 令和6年4月10日(水)
会議場所 宝達志水町生涯学習センター 2階 第一会議室
出席委員 細江教育長、松田委員、近岡委員、大崎委員、西委員
説明員 松浦学校教育課長兼小学校統合準備室長、杉谷学校教育担当課長、宮本生涯学習課長
欠席者 なし

開 会 午前10時00分

- 1 前回会議録の承認について
会議録の内容について承認された。
- 2 教育長事務報告
会議資料により要点報告を行った。
- 3 報告事項
(1) 宝達中学校進路状況について
杉谷担当課長が資料に基づき説明した。
- 4 その他
(1) 今後の日程について
松浦学校教育課長兼小学校統合準備室長が資料に基づき説明した。

(委員の意見等)

質問	大崎委員(3報告事項) ○宝達中学校卒業生の進学先の特徴はあったか。
回答	杉谷担当課長 ○身近な羽咋高校、羽咋工業、七尾高校が選択のベースにある。それ以外は通学できる範囲が大きいいため、自分のニーズの合わせて学校を選択する傾向は変わらない。
質問	大崎委員(3報告事項) ○地震の影響が残る中、地元に近い羽咋高校の入学者が増えたのは良いと感じた。引き続き進路指導にも力を入れていただきたい。
回答	細江教育長 ○なかなか悩ましい点である。本町においては、羽咋高校、七尾高校の進学が増加する一方、宝達高校への進学が減少した。地元の高校の存続が難しい。

質問	西委員（3報告事項） ○かほく市では、定期券の購入の半額補助をしている。本町では宝達高校通学者に対して実施しているが、可能性を求めて他市町に進学する生徒のために、交通費を補助することはできないか。
回答	松浦学校教育課長兼小学校統廃合準備室長 ○ご指摘の通りの現状だが、今後検討する。
	細江教育長 ○津幡町の他市町へ通学する交通費を補助している。本町では、宝達高校のみであるが、拡大することで本町の高校生にとって有益であるのではないか。
意見	近岡委員（3報告事項） ○県の中央に位置する本町は金沢方面も七尾方面も選択できるのが強み。宝達高校への進学が減少しているが、部活動や学科で特色を考えないと先細りである。
質問	松田委員（3報告事項） ○宝達高校進学者の地域別入学者の割合の推移はどうか。
回答	杉谷担当課長 ○今年度の入学者のうち、宝達中学校から進学した生徒は6名で、割合は2割5分であった。羽咋中も含めると半分程度と聞いている。宝達高校へ進学する生徒は金沢市からもおり幅広い。
意見	松田委員（3報告事項） ○県内広範囲から募れるのではないか。また、そういう働きかけをお願いしたい。
意見	大崎委員（3報告事項） ○宝達高校は県立であるため町教委との立場の違いはあるが、特色のある学校、卒業後の道がしっかりとするための指導を展開していただきたい。
回答	細江教育長 ○機会がある度に話を出していきたい。
質問	近岡委員（4その他） ○各小中学校の登校状況はどうか。また、春休み中の児童生徒の怪我、事故はなかったか。
回答	杉谷担当課長 ○現在のところ、特段問題があったとは聞いていない。長期的に休んでいる生徒が6校合わせて20人程度いる状況。春休み中の児童生徒の怪我、事故はない。
質問	大崎委員（4その他） ○東大セミナーの授業の様子はどうか。また今年度の取り組みの予定は？
回答	杉谷担当課長 ○意欲を持って取り組んでいる生徒がいるのは事実。今年度は各校長に5月

	から始まるスケジュールを既に示しており、計画を進めていくこととしている。ご案内できる限り、教育委員にも見ていただけたらと考えている。
回答	<p>細江教育長</p> <p>○中学校では、授業がない水曜日の6限目を活用した全生徒参加と変更した。小学校では、寄付金を活用し、学期毎に取り組む予定。夏の合宿については、女性の宿泊が遠慮されている一方、東大セミナーとしては勉強漬けとなる泊まり込みに価値をおいており協議中である。</p>
質問	<p>西委員（4その他）</p> <p>○まんが図書館の利用状況はどうか。</p>
	<p>宮本生涯学習課長</p> <p>○コミックフィールドは宝スポの自主事業として、町の建物で備品として本を所有し運用している。令和5年度からは金土日の3日間、令和4年度は週4日間の開館で年間約1,800名の利用だったが減ってきているという状況である。運営の工夫については確認して示したい。</p>

閉 会 午前10時45分